

会 議 録

1 会議名

令和6年度第4回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 自主的審議事項（公開）

（1）名立区の子育て及び教育環境の現状

2 その他事項（公開）

3 開催日時

令和6年7月30日（火）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：池垣美津子、石井浩順、岡崎祥子、高宮末男、中野祐、新田鮎、二宮香里、畑芳雄、原田秀樹、細谷祥大、矢沢智大、吉沢磯一
- ・ 事 務 局：桐木所長、沢田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、木村地域振興班長

8 発言の内容

【木村班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 原田会長に議長を依頼する。

【原田会長】

- ・ 挨拶

- ・ 桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・ 挨拶

【原田会長】

- ・ 事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【木村班長】

- ・ 会議録の確認者：岡崎委員、新田委員
- ・ 配布した資料の確認

【原田会長】

- ・ 次第2、自主的審議事項（1）名立区の子育て及び教育環境の現状について、事務局に説明を求める。

【沢田次長】

- ・ 全国的に人口減少が進み、どうにかしていきたいということが課題となっている中で、子育てや教育環境が一つのキーワードになっている。
- ・ 私たちの住む名立区では、子育てや教育環境がどうなのかについて、本日は名立たちばな保育園の橘園長、宝田小学校の宮崎校長、名立中学校の吉澤校長をお招きし、現在の取組について説明をいただき、説明後には委員との意見交換を行いたいと思っている。
- ・ 様々な施策を考えるうえで、「移住」ということを頭の隅に置きながら検討を進めていかなければいけないと思っている。その中でも子育てや教育環境が大切なキーワードになってくると考えている。
- ・ また、石井委員は名立の子どもを守り育む会の会長も務められているため、そちらの観点からも意見をいただければと思っている。
- ・ それでは、名立たちばな保育園の橘園長、宝田小学校の宮崎校長、名立中学校の吉澤校長の順でお話いただきたいと思う。

【名立たちばな保育園 橘園長】

- ・ 資料N o, 1に基づき、園の保育目標や園児数の推移等について説明

【宝田小学校 宮崎校長】

- ・ 資料N o, 2に基づき、グラウンドデザインや入学予定児童数等について説明

【名立中学校 吉澤校長】

- ・資料No. 3に基づき、生徒数やグランドデザイン、活動状況等について説明

【沢田次長】

- ・続いて、私から名立の子どもを守り育む会について説明する。
- ・旧名立町の時代は、名立町青少年育成町民会議という組織があり、青少年の健全育成を担っていた。
- ・その後市町村合併があり、上越市の新しい教育ビジョンを示す「第1次上越市総合教育プラン」が出された。その中で、地域が主体的に地域の教育活動を考え、学校と連携して地域の教育活動を担っていく組織を作っていこうという話になり、その組織が「名立の子どもを守り育む会」である。上越市全体で言えば、地域青少年育成会議につながる組織である。
- ・名立の子どもを守り育む会は、旧名立町時代の名立町青少年育成町民会議の伝統を引き継ぎつつ、地域が主体的にその地域の教育活動を学校と一緒に実践していこうという理想像を掲げ、多くの方から参画していただき、ワークショップを何度も重ねてきて設立した経緯がある。
- ・名立の子どもを守り育む会は、「ふるさとを愛し、ふるさとを語り、ふるさとを思い続ける子どもを育成していく」ことを目的としながら活動を行っている。
- ・この中で「ふるさとを語り」とあるが、これは自分たちが生まれ育ったふるさとを積極的に多くの方に語るためには、自分たちのふるさとに誇りを持っていなければならないことだと思うので、子どもたちには自分たちのふるさとに誇りをもって語れるようになってほしいという願いも込められている。
- ・また、自分の夢や目標を持って名立区を離れる子どもたちにも、いつまでも名立区を思い続けてほしいという願いが込められている。
- ・こういった想いを大切に、学校運営協議会や公民館とも連携して子どもたちをサポートしている。また、地域協議会からも名立の子どもを守り育む会の評議委員を4名選出していただき、会の活動を見ていただき、年度末には評価をしていただいている。

【原田会長】

- ・ 保育園、小中学校、育む会について説明をいただいたので、ここからは意見交換を行いたいと思う。
- ・ 質問や意見があれば発言してほしい。

【畑委員】

- ・ 小学校では複式学級編成の見込みが示されているが、中学校では複式学級編成の見込みはあるのか。

【名立中学校 吉澤校長】

- ・ 中学校では複式学級の見込みはない。

【中野委員】

- ・ 小学校では令和9年度に児童数が増加する見込みだが、これはどうしてか。

【宝田小学校 宮崎校長】

- ・ 令和9年度は1年生の児童数が14名と他の年よりも多くの児童が入学見込みであるため、令和9年度の児童数が増加している。

【吉沢委員】

- ・ 保育園の資料のうち、一日の様子を見ると、今はラジオ体操を行っていないのか。

【名立たちばな保育園 橘園長】

- ・ 夏休み期間など、個人的にラジオ体操に参加している園児はいるかもしれないが、現在、保育園でラジオ体操の時間は設けていない。しかし、夏季はプールの時間があるので、準備体操として、音楽をかけて体操を行うこともある。

【吉沢委員】

- ・ 小中学校に関して、子どもたちは部活動は行っているのか。

【宝田小学校 宮崎校長】

- ・ 小学校に関しては、小学5、6年生が太鼓を課外活動として行っている。

【吉沢委員】

- ・ 運動系の部活動はないのか。

【宝田小学校 宮崎校長】

- ・ 運動系の部活動は行っていない。

【沢田次長】

- ・ 私から補足する。名立区では平成15年に、子どもたちの運動体制を整えようとい

うことで「名立町ジュニアスポーツクラブ」を設立した経緯がある。その当時は地域の指導者や学校からも協力していただき、野球、バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道などの種目があった。

- ・しかし、時代とともに子どもたちの人数も減少し、中学校の部活動の種類も絞らなければいけない状況になり、バレーボールと野球の2つになった経緯がある。
- ・小学生で言えば、現在名立区には野球チームがある。少し前まではバレーボールチームもあったが、無くなってしまった。
- ・つまり、小学校には部活動というものはなく、地域で運営するクラブ活動に属している。また、名立太鼓にも少年名立太鼓があるので、そちらに所属している子どもたちもいる。

【吉沢委員】

- ・私たちが子どもの頃は、小中学校に部活動があり、その中で先輩、後輩のつながりがあり、卒業後もそのつながりが続いていて良いと思っている。
- ・学力について、名立区は上越市や全国と比較してどの程度なのか。

【原田会長】

- ・全国で行う学力テスト等の結果から分かるものだと思うが、今回の意見交換の趣旨とは異なるため、控えていただきたい。

【吉沢委員】

- ・昔は、先生が黒板に書いたものを生徒がノートに書くという授業スタイルだったと思うが、今はどうか。

【名立中学校 吉澤校長】

- ・今でも黒板は使うが、それよりもタブレットが主流になってきた。
- ・数年前に全国の児童生徒、教員にタブレットが支給されたのを機に、タブレットが一気に普及した。

【吉沢委員】

- ・タブレットも良いが、書くことで頭に入り、覚えるものだと思う。それは、社会人になってからも役立つものだと思う。

【原田会長】

- ・私が育った時代、私が子育てをしていた時代は名立区にもっとたくさんの子どもが

いて、学校も何校もあった。そのため、保育園や学校と地域との関りがとても狭い範囲で行われていた。

- ・昔、名立区には小学校は4校、中学校は2校、保育園に関しては北部地区だけでも3園あった。
- ・このような状況のため、当時は保育園や小中学校と地域とのつながりはとても密であった。
- ・今は、保育園、小学校、中学校は名立区に1つずつとなり、関わる地域イコール名立区全域となった。お付き合いする地域が広範囲となったことで、私たちの世代は戸惑うことも多くなったが、PTAなどの子育て世代は子どもを中心にまとまり、地域という意識を持っていると感じている。
- ・名立区全域という広い付き合いの中で、何か意識していることがあれば教えてほしい。
- ・私も以前は町内単位で学校活動を盛んに行っていたが、今はおじいちゃんの立場になり、学校と関わることはほとんどなくなってしまった。
- ・私のような立場の人間が、学校や保育園に関わりたと思ったときに、窓口があると良いと思う。

【沢田次長】

- ・学校運営協議会という組織があり、この組織は地域と学校が連携して学校運営を進めるためのものである。
- ・学校で行事がある際は、学校がオープンになっているので、地域住民として学校を訪れる良い機会かと思う。
- ・学校行事については、総合事務所でもある程度把握しているので、お問い合わせいただきたい。

【池垣委員】

- ・私は社会福祉協議会に勤務しているが、毎年高齢者の交流会を開催している。数年前までは小学5、6年生から太鼓を披露してもらっていた。その当時は「宝田太鼓」と呼んでいたが、本日の資料を見ると、「名立太鼓」と記載がある。数年前と名称が変わったのか。

【沢田次長】

- ・今でも小学校で行う太鼓は「宝田太鼓」と呼んでいる。

【池垣委員】

- ・昨年から交流会でも小学生の出演も再開し、昨年は合唱を披露していただき、とても好評であった。会場がろばた館ということもあり、子どもたちの歌声が会場内に響き渡り、とても良かった。ぜひ、今年もお願いしたいと考えている。

【宝田小学校 宮崎校長】

- ・そういったお言葉はとてもありがたい。今年度についても前向きに検討したい。

【新田委員】

- ・子どもが少なくなり、地域との関りが難しいという中で、先日4年生が地域の菓子店と協力してイベントを実施したことで、とても盛り上がり、子どもたちにとっても良い経験になった。
- ・このような地域との関わり方を今後も続けてほしいと思う。

【二宮副会長】

- ・保育園のホームページを拝見したが、とても見やすくよかった。
- ・小中学校は学校だよりが定期的に回覧板で回ってくるが、保育園でもホームページ以外にも回覧板を活用することで、地域全体に情報発信をできるのではないかと考えた。
- ・令和2年度に建物が新しくなった際、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で内覧会が中止となったこともあり、新しい園舎に入ったことがない人も多いと思う。
- ・先生方が忙しいのは十分承知しているが、是非とも回覧板等で情報発信をしてほしい。

【名立たちばな保育園 橘園長】

- ・内覧会を中止せざるを得なかったことは私たちもとても残念に思っているのですが、いずれ地域の皆さんに見ていただく機会を設けることができればよいとは考えているが、日々の業務との調整が必要で、なかなか実現できないのが現状である。
- ・ただ、回覧板での情報発信は前向きに検討したいと思う。

【二宮副会長】

- ・先ほど会長もおっしゃっていたが、自分の子どもが通っていないと、小中学校へ行く機会がなかなかないという点について、以前は音楽の演奏会などの行事があると、

地域にも声がかかっていたが、コロナウイルス等の影響もあり、そういったことが段々と縮小傾向にあると感じている。

- ・今後、再会できるようであれば、回覧板等でお知らせしていただけると、地域の人でも気軽に学校へ行く機会になると思う。
- ・また、宝田小学校のグラウンドの裏が山になっていて、春になると地元の人ではない、山菜取りの人たちが訪れているのを見て、少し怖いと感じた。

【宝田小学校 宮崎校長】

- ・小学校の敷地内であれば、対策が必要と思うが、おそらく敷地外であるため、対応が難しい。

【沢田次長】

- ・明らかに怪しい人物であれば、もちろん対応するが、地元の人でないとしても、山菜取りが目的の人であれば、学校側が注意することは難しいと思う。

【吉沢委員】

- ・中学校長から、家庭学習の時間が少ないという話があったが、名立区には小中学校が一つずつしかないため、他の学校の児童生徒や高校生等の姿を見る機会が少ない。上越市内であれば、図書館や公民館などで自主学習を行っている子どもがいて、それを目にすることで、自分もやらなくては…という思いになるかもしれないと感じた。

【矢沢委員】

- ・今はインターネット時代で、ホームページから情報を収集することが多いが、年配の方がホームページを見る習慣があまりないため、情報収集ができないという意見を聞くことがある。
- ・ペーパーレスとは言っても、年配の方に情報を伝えるためには、まだまだペーパーが必要だと感じているので、地域に伝えたい情報がある際は回覧板を活用していただきたいと思う。

【二宮副会長】

- ・保育園のホームページのアンケートを拝見し、その中の自由記載欄に「土曜保育を半日から1日に拡充してほしい」という意見があったが、やはり難しいのか。

【名立たちばな保育園 橘園長】

- ・職員の労働時間等も関係していて、土曜日の1日保育はできないのが現状である。
- ・上越市立の保育園では、土曜日に1日保育を行っている園と行っていない園があり、土曜日に1日保育を希望される方は、土曜日に1日保育を行っている園に通うよう案内していると思う。

【吉沢委員】

- ・名立区に学習塾はあるのか。それとも、直江津などまで通っているのか。

【沢田次長】

- ・名立区に塾がどのくらいあるのかまでは把握していないが、家庭での学習については、それぞれの家庭の考え方もあり、旧市内の塾に通わせている家庭もあると思う。

【二宮副会長】

- ・以前は名立区にも学習塾があり、定期的にコミュニティプラザ等で実施していたと思うが、今はやっていないと思う。

【原田会長】

- ・地域協議会は、自分たちの住む地域のことは自分たちで話し合い、地域を良くしていこうという目的がある。
- ・園長や校長の立場で、私たち地域協議会に望むことがあれば、ぜひ伺いたい。

【名立たちばな保育園 橘園長】

- ・保育園としては、ここ数年はコロナウイルスの影響で、感染拡大防止のため外部との接触はなるべく避けるようにといった指導が国等からあり、それに沿った形で保育を行ってきた。
- ・その状況が少しずつ緩和された今、子どもたちの人数が少ない中で、どんなことができるか、どんな風に地域と関わっていけばよいのかを模索している状況である。
- ・やっと、発表会や運動会にも人数制限なしで来場いただけるようになり、地域の方との関わり方もようやく前向きに検討できるようになったと感じている。

【宝田小学校 宮崎校長】

- ・小学校では総合的な学習を行っているが、地域の皆さんからご協力をいただかないと成立しないと思っている。先ほども話が出たが、宝田太鼓を継続するためには地域の力が必要だと思っている。
- ・また、学校行事や学年の活動など、広くご案内するので、地域の皆さんから学校に

来ていただきたい。

【名立中学校 吉澤校長】

- ・私は名立中の校長になってまだ半年もたっていないくて、子どもたちを支えてくださっている地域の仕組みについて、理解できていない部分もあるので、しっかりと整理し理解したいと思っている。
- ・また、今年の名立まつりの名中ソーランについて、生徒から見ると学校主導で、学校行事の一部のような認識がある。そうではなくて、地域と一緒にやっているという認識を持たせるために何かやり方はないかと、実行委員会に相談した。その結果、例年に比べかなり改善されたように感じている。
- ・このように地域の方がもっと子どもたちの目に見える形で学校と関わっていくことが大切だと思う。
- ・中学校でも学校行事をもっと地域へ発信していきたいと思う。

【沢田次長】

- ・社会教育に関していえば、地域学校協働活動というものがある。名立区では公民館や名立の子どもを守り育む会が学校と地域の間に入って、結びつきを深めていく、架け橋となることが期待されているし、私たちもそれを目指していきたいと思っている。

【原田会長】

- ・時代とともに学校数は減っているが、町内には保育園児から高校生までの子どもたちがいて、挨拶を交わしたりしている。その何気ないやり取りが大きな結びつきになるかは分からないが、やはり子どもたちを見ると応援したい気持ちになる。地域協議会として、様々な形で名立の子どもたちを守り、育んでいきたいと思う。
- ・それでは、次第2、自主的審議事項（1）名立区の子育て及び教育環境の現状については以上とする。
- ・お忙しい中、ご出席いただいた先生方に感謝申し上げます。
- ・次に次第3、その他事項に入る。
- ・次回の地域協議会の開催日について、事務局に説明を求める。

【木村班長】

- ・次回の会議では、まちづくりに関係する団体との意見交換を予定しているため、関

係する皆さんとの日程調整後に開催日を決定する。

【原田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 5504）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。